

郡上魂!! 「なにくそ」、「おかげさま」の

精神で、『持続可能性都市』をめざす

～郡上市の人口は26年後の2040年に約6割に減少?～

消滅可能性都市の宣告

平成26年5月に公表された、有識者による「日本創成会議」の2040年の将来人口推計は、「地方はこのまま推移すると、多くの地域は将来消滅するおそれがある」として日本中に大きな反響を及ぼしました。平成25年3月に公表された、国立社会保障・人口問題研究所の将来人口推計の試算よりも人口の移動が収束しない場合に、「2039歳の女性人口（若年女性人口）が2010年に比べて半数以下になると推計される全国896市区町村を「消滅可能性都市」としました。

岐阜県においても42市町村のうち、17市町村が「消滅可能性都市」に該当するとされ、郡上市も仲間入りしています。郡上市では、こうした人口減少問題に対応するため、市長を本部長とする「郡上市人口問題対策本部」を設置し、政策別に5つのプロジェクトチームを立ち上げるなど、これまでの課題の抽出やこれからの具体的な取り組み等について検討を行っているところです。

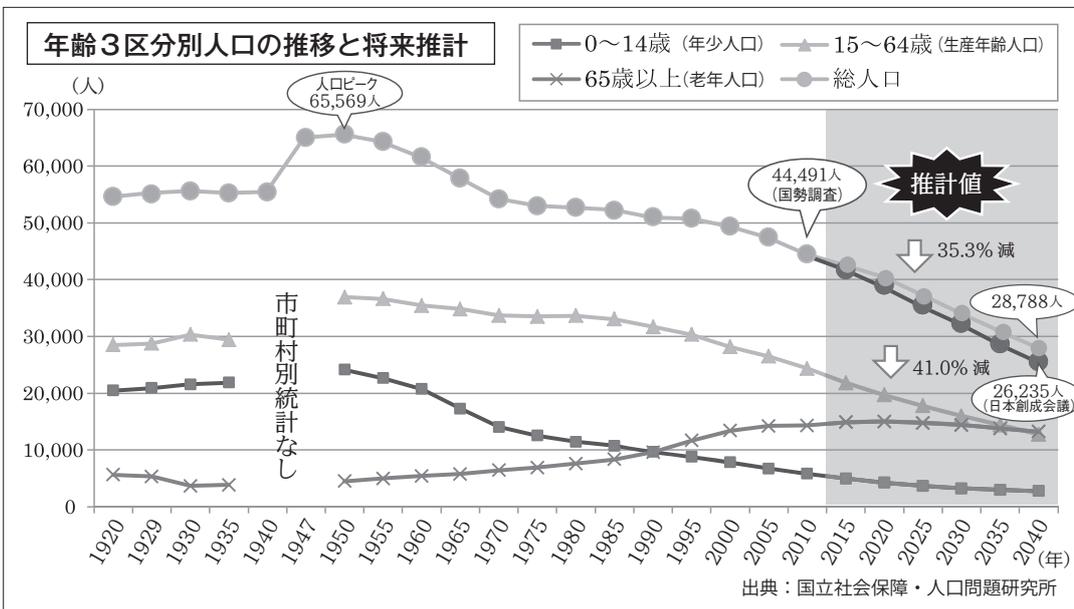
これまでの人口の推移と将来人口推計について

郡上市の人口について1992年の第1回国勢調査からの推移をみると、一番人口が多かつ

たのは1950年の65,569人であり、その後減少が続ぎ、2010年は約3割減の44,491人となり、491人となつています。次代の郡上を担う年少人口（0

	【2010年】	→	【2040年】
総人口	44,491人		28,788人 (35.3%減) / 26,235人 (41.0%減)
20～39歳女性人口	3,629人		2,158人 (40.5%減) / 1,455人 (59.9%減)

出典：国立社会保障・人口問題研究所 / 出典：日本創成会議



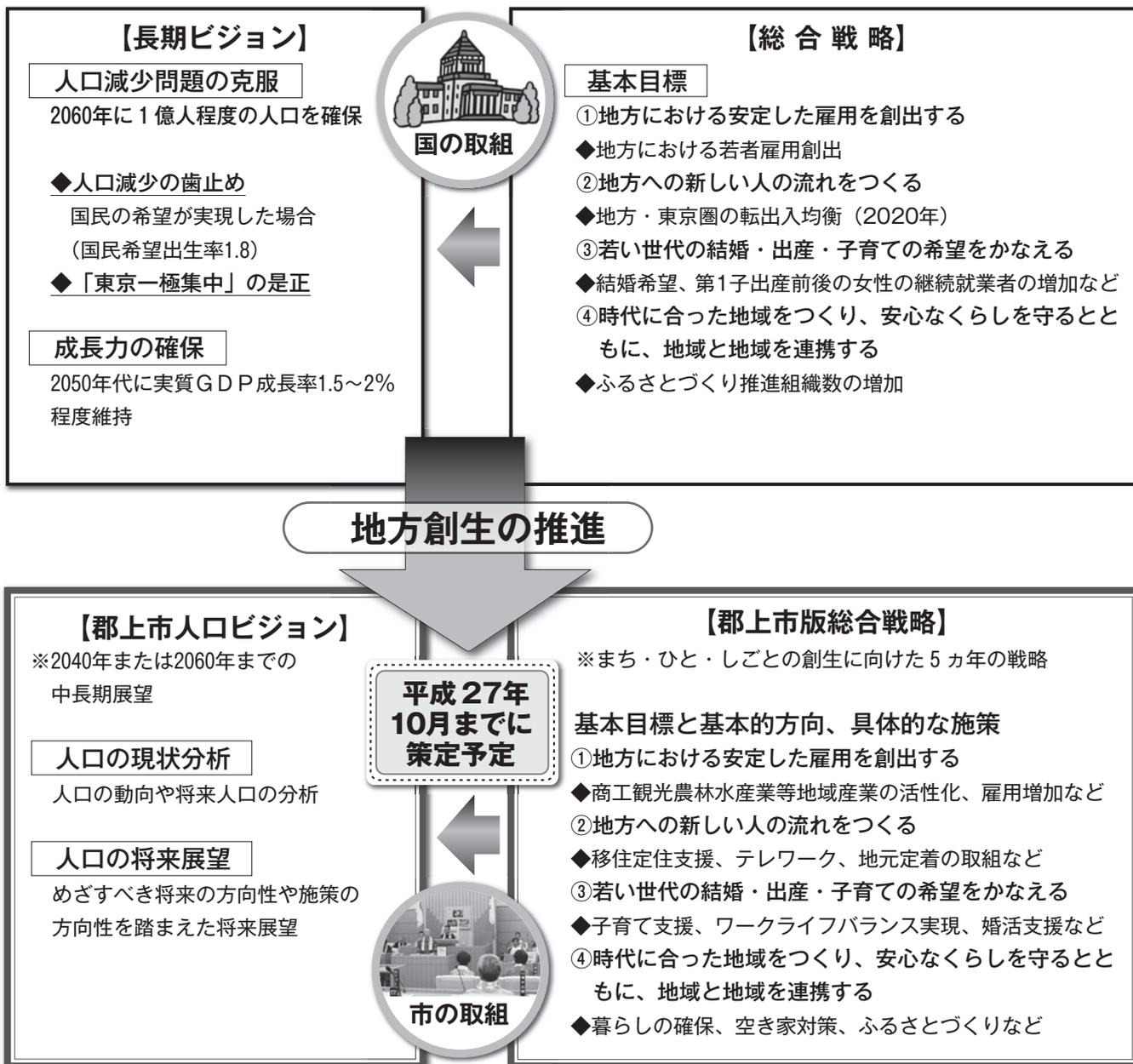
（14歳）と屋台骨を支える世代である生産年齢人口（15～64歳）は減少を続ける一方、老年人口（65歳以上）は増加を続けています。特に、年少人口は1990年に高齢人口と同じ約9,600人となり、ほぼ同数となった以降、2010年では5,818人にまで減少し、高齢人口は増え続けて14,315人となり約2.4倍となっています。

郡上市の将来の人口推計をみると、2040年の人口は、国立社会保障・人口問題研究所では28,788人、日本創成会議では26,235人になると推計されています。いずれも2010年に比べて約4割が減少するとされており、市民の2.2人に一人が高齢者となる一方、高齢者を支える世代である生産年齢人口は減少し、高齢者一人に対して、2010年の1.7人から2040年には0.96人となり、分子（支えられる側）よりも分母（支える側）の方が、小さくなるかとされています。

人口減少克服のための 取組に向けて

こうした将来人口推計の試算は、あくまでも予想であり、このまま何も対策を取らずに人口減少が続けばということが前提となつていきます。日本創成会議も今回の試算は単に危機を煽ることでなく、危機を示すことで国や地域が対応を考えてほしいと述べています。このため、行政だけでなく市民のみならずも一緒に、過去や現在の状況を把握し、また、将来について直視し、この難しい問題に一丸となつて取り組む必要があります。

国においては、地方創生の推進のため先の臨時国会で「まち・ひと・しごと創生法」が成立し、長期ビジョン並びに総合戦略が策定されました。郡上市においても、国や県の方針を受け「郡上市人口ビジョン」並びに「郡上市総合戦略」を市民のみならずの意見を十分踏まえ、みなさんとともに策定し、地方創生推進に取り組みんでいきます。



しかし、これらを行えば人口減少が解決するというような特効薬が存在するわけではありません。特に、これからの郡上市を担う若い世代の地元定着を図るために、働く場や若者が希望する雇用条件の確保、子育てや医療・介護など福祉の充実、郡上市への愛着を高める取組、積極的な市外へのPR、地域の魅力を高めるまちづくりなど、様々な取組を総合的かつ着実に進めることで、郡上市の総合計画にめざすべき将来像として掲げている、①訪ねたいまち郡上【交流】、②輝きたいまち郡上【活力】、③住みたいまち郡上【安心】の達成により、郡上市に住み続ける人、移り住む人、訪れる人の増加を実現することが大切です。

郡上市は、これからもみなさんと一緒になって「なにくそ」、「おかげさま」の精神で、脱「消滅可能性都市」言い換えれば「持続可能性都市」をめざします。

